

みのりTIMES

内部向け情報誌

生活介護・就労B型＆グループホームの情報誌

2024 4	4・5月号	社会福祉法人みのり福祉会 令和6年3月29日発行
--------	-------	-----------------------------

【発行】社会福祉法人みのり福祉会
多機能型支援施設みのり・グループホーム

＜本部＞
〒350-1305
埼玉県狭山市入間川 3273-23
TEL: 04-2954-8566
FAX: 04-2954-2646
e-mail: t-minori@bell.ocn.ne.jp
HP: <http://www.minori-fukushi.or.jp/>

ホームページはこちらから！
ブログも随時更新中！



あおおらいしば 《テレビ番組のはなし》

3月11日放送の「帰れマンデー」はサンドウィッヂマンが気仙沼から大船渡までの三陸海岸沿いをバスに乗り継ぎながら巡り、地元のお店を紹介する番組でした。

数々の地元のお店は、サンドさんと縁もゆかりも深く、お互いの顔が見えるお店ばかりで地元愛にあふれた、今を伝えるインタビューと能登半島の方々へのエールがあり、復興と応援への力があふれる番組でした。

私たちの仕事でも、顔の見える関係づくりという言葉をよく使いますが、この番組を見て改めて関係づくりに関する考えました。顔の見える関係という言葉は、行政等の会議や協議会ではよくつかわれますが、“顔がわかる関係づくり” “その人の人となりや考え方方がわかる関係づくり” “相談や対応をしてくれる予測ができる信頼感のある関係づくり” の段階があり、テレビに映るサンドさんと地元の方々からは信頼感のある関係性が伝わってきました。一方、行政会議等では顔がわかる関係性を主軸に会議をされることが多いようです。

信頼感のある関係づくりとは、共に考え、共に働き、助け、助けられることが必要であり、その積み重ねの中で構築されるものです。福祉用語で使用される“顔の見える関係づくり”とは幅が広く、一堂に会するだけでは連携や地域福祉は推進されません。

私たちみのり福祉会は、その人の人となりがわかるような会議の推進やグループワークを行うこと、この中の聴く姿勢と理解、助けることのメリット、助けられることのメリットが意識できること、そしてそれらのことを実践することが“顔の見える関係づくり”であるという行動をとりたいと考えます。

心の中で繋がる人が一人でも多くいることを幸せと感じ、新年度のスタートを切っていきますので、エールをお願いいたします。

理事長 坂本光雄

缶リサイクル作業の様子

コロナ禍で中止していた缶リサイクル作業ですが、
令和5年度は回収範囲を限定し徐々に再開する事ができました。
新年度は自主回収範囲を広げ、作業の機会を増やしていくよう取り組んで参ります。



★ご家庭からのアルミ缶も受け付けております★

原則、直接の持ち込みに限らせて頂きますが、回収に伺う事も
可能です。お気軽にお問合せ下さい。（連絡先：04-2954-8504）

節分イベントを行いました

昨年と同様、豆の代わりに丸めた新聞紙を使って豆まきをしました。最後にみんなで福豆を食べ、今年一年の幸せと健康を願いました(^^)



製品販売(外部)について

市内の企業や高齢者施設と提携し、みのり製品の販売を行っています。これまでには、就労Bの利用者さんが販売の仕事をされていましたが、最近は生活介護の利用者さんも販売に参加されるようになりました。

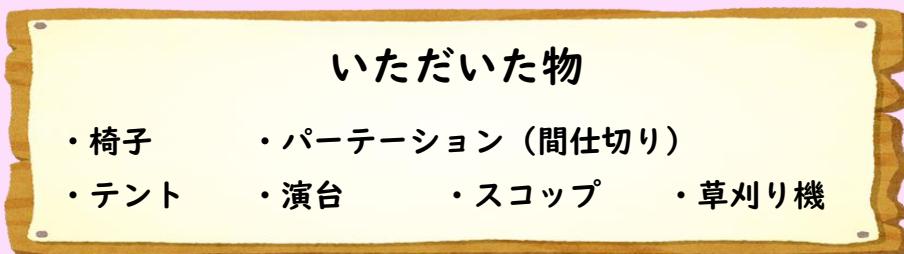
右の写真は、パン販売の様子です(^^)/



ご寄贈ありがとうございます

市内に本社がある「柳河精機株式会社」様より物品を寄贈いただきました。

多機能みのり等の各事業所で大切に使わせていただきます。



職員について

※新入職員の写真は
次回号で掲載いたします

4月1日付

多機能型支援施設みのり (支援員)

やまおか がく

山岡 岳

入職

3月31日付 グループホームみどり(世話人)

かわみ あいこ
河見 愛子

3月31日付 グループホームみどり(世話人)

なぐも みちこ
南雲 美智子

退職

3月31日付

多機能型支援施設みのり (支援員)

ふくしま こうへい

福島 康平

3月31日付 グループホームみどり(運転手)

やまぐち けんすけ
山口 賢祐

★お知らせ★

現在ホームページをリニューアルしている関係で、更新ができない状態となっております。新しいホームページは令和6年内に完了する予定です。ご不便をおかけしてしまい申し訳ありません。

4月・5月 の予定

- ・入所式
- ・ゴールデンウィーク